

# はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

だんだん寒くなってきました。風邪をひきやすい季節です。というわけで・・・

## 早めの予防接種でインフルエンザ予防をしましょう！

インフルエンザは、例年、12月下旬から1月にかけて流行期に入ることが多いです。しかし、初発の患者さんは、今の時期から出始めます。早めのインフルエンザワクチンの接種で予防に努めましょう！

### ◎インフルエンザワクチンについて◎

**接種してすぐに効果が出るわけではありません。**

**早めに、流行前に、接種しましょう。**

- ・効果が現れるまでに・・・約2週間
- ・効果の持続期間・・・約5ヶ月間

また、ワクチンを接種することで、

- ・**インフルエンザ予防**になるのはもちろん、
- ・罹ってしまったときの**重症化予防**にもなります！

なので、とくに抵抗力の弱い、高齢者、子供は接種するようにしましょう！

また、お仕事や家庭などでこれらの方と関わりのある方も接種するようにしましょう！



### ○ 編集後記 ○

インフルエンザは、例年の流行のピークは12～1月ですが、昨年の状況を見ると、ちょうど今の時期（10月半ば）に初発の患者さんが報告されています。季節の変わり目で風邪をひきやすい時期でもあるので、手洗い・うがいで普段からの予防にも気をつけたいですね。

### ◎ 昨シーズンの特徴 ◎

《 流行時期 》

福井県では、流行のピークが、H17.3.7～13の週で、例年に比べて遅く、また、5月に入って以降も、患者報告数が多かったのが特徴です。初発がH16.10.11～17の週、終息がH17.5.16～22の週でした。

《 インフルエンザウィルスの型 》

全国的に見てみると、Aソ連型 3%、A香港型 39%、B型 58%とB型が主流でした。  
(国立感染症研究所調べ)

福井県では、Aソ連型 12.4%、A香港型 31.5%、B型 56.2%で、前半はA型が多く、後半はB型が主流でした。

嶺南では、Aソ連型 25.7%、A香港型 48.6%、B型 25.7%と、他と比較して、B型が比較的少なかったのが特徴です。

### 福井県感染症発生動向調査速報(9月)

〈腸管出血性大腸菌感染症(3類)発生状況〉

・ 9月:1件(坂井健康福祉センター管内)

H17.1～9 発生件数	13 件
有症者	13 人
無症者	7 人

※1類、2類感染症の報告はなし。

発信者 若狭健康福祉センター

健康増進課 担当 清水 久美子

TEL : 0770-52-1300

FAX : 0770-52-1058

MAIL : [k-shimizu-47@pref.fukui.lg.jp](mailto:k-shimizu-47@pref.fukui.lg.jp)

○ ご意見・ご感想お待ちしております！